

科 目	回復期にある成人の看護				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	⑤原和樹 ③水田史子 ③渡邊知美				
実務経験	⑤理学療法士(医療機関) ③看護師(医療機関)				
ねらい	回復期にある成人の看護を学ぶ				
目 標	1. 回復に向け、リハビリテーションを受ける患者の特徴を理解する。 2. 授業で用いる疾患の病態生理(原因・分類、症状、成り行き)、治療と回復期にある患者の看護を理解する。				
授業計画					
回	内 容				
1～3	回復期にある患者の特徴と看護の考え方 リハビリテーションの実際				
4～7	心筋梗塞、心不全をもつ患者の看護				
8～11	子宮がん、乳がんで手術を受けた患者の看護				
12～15	大腸がんをもつ患者の看護				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 各講師が各々の担当領域について終講時に筆記試験を行った結果及び平素の学習状況を総合して100点満点で評価する。 60点以上を及第点とする。				
教科書	別巻 リハビリテーション看護:医学書院 成人看護学(5)消化器:医学書院				